

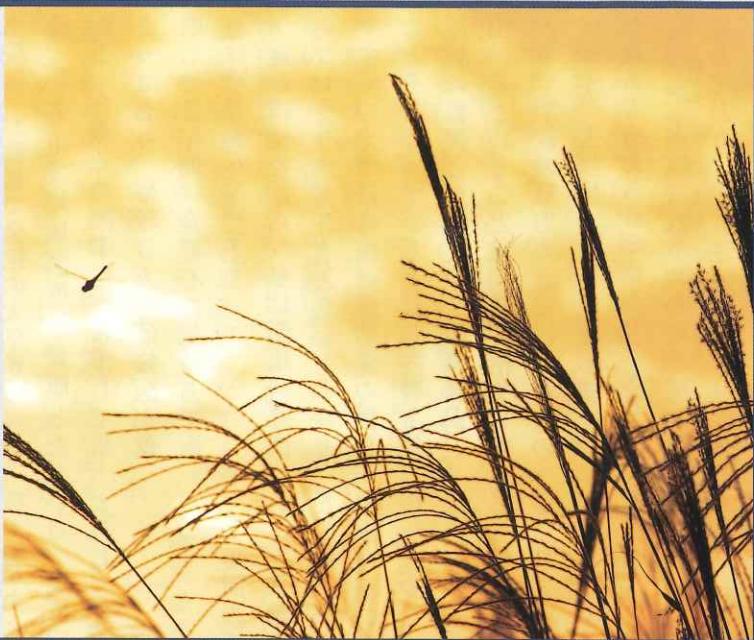
はいれあい

2022

10

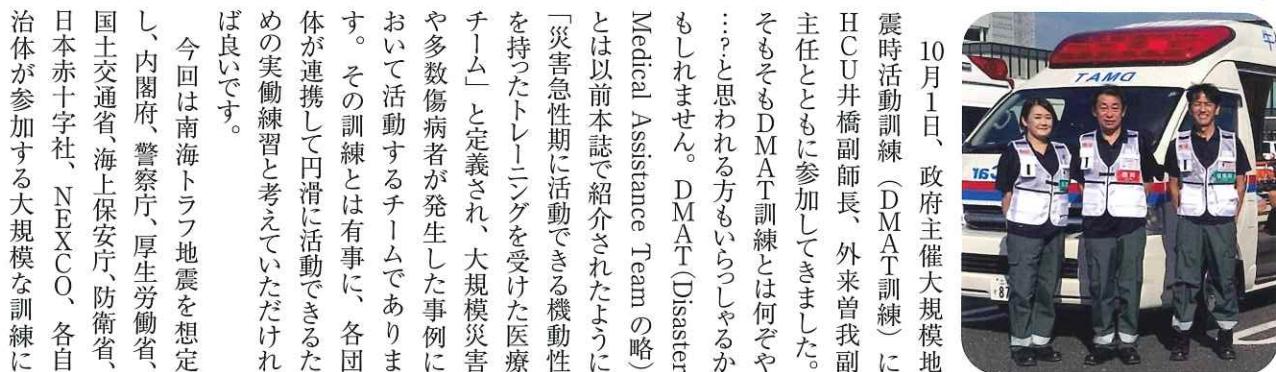
No.427

牛久愛和総合病院 広報誌



政府主催大規模地震時医療活動訓練(DMAT活動訓練)に参加してきました

救急医療科部長兼救急・外傷センター長 佐藤 孝幸



10月1日、政府主催大規模地震時活動訓練(DMAT訓練)にHCU井橋副師長、外来曾我副主任とともに参加してきました。そもそもDMAT訓練とは何ぞや…?と思われる方もいらっしゃるかもしれません。DMAT(Disaster Medical Assistance Teamの略)とは以前本誌で紹介されたように「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義され、大規模災害や多数傷病者が発生した事例において活動するチームであります。その訓練とは有事に、各団体が連携して円滑に活動できるための実働練習と考えていただければ良いです。

今回は南海トラフ地震を想定し、内閣府、警察庁、厚生労働省、国土交通省、海上保安庁、防衛省、日本赤十字社、NEXCO、各自治体が参加する大規模な訓練になりました。

DMATの活動とは以前は「瓦礫の下の医療」と現場活動が中心とされておりましたが、東日本大震災以降、被災病院の援助、病院避難の協力、被災病院からなりました。DMATとしては、北は北海道、南は九州・沖縄まで全国42隊が参加しました。このような大規模訓練はこれまで数年ごとに行われてきましたが、コロナ禍もあり、4年ぶりに行われるようになりました。

私共、牛久愛和総合病院DMATは他の関東地区DMATとともに東名高速道路足柄SAに参集する下命があり、AM 8:00に到着するため、大井松田IC周辺に前泊し、準備しております。当初は静岡県内での活動予定でありますたが、当日、東名高速道内での多重事故にて定時に参集予定のDMATの到着が大幅に遅れるとのことから、何と、先着の当院DMATは愛知県内での活動に変更となりました(おいおい、どんだけ遠方…。(泣))。足柄SAから富士山を背にドクターカーで高速道を走ること2時間半、ようやく豊川市(豊川稲荷で有名な)の豊川市立病院へ到着し、活動開始となりました。

DMATの活動とは以前は「瓦礫の下の医療」と現場活動が中心とされておりましたが、東日本大震災以降、被災病院の援助、病院避難の協力、被災病院から置づけが、変更されました。今回、私共は患者搬送支援の活動依頼にて豊橋医療センターから豊川市立病院へ、さらに豊橋医療センターから名古屋市の愛知医科大学病院へ実際搬送訓練を行いました(患者は乗車しておりませんが、実際に走行して医療機関へ移動)。この訓練を通じてかなり改善点も見つかり、参加の有用性を痛感致しました。9月には東日本大震災を想定した関東ブロックDMAT訓練にも当院DMATは参加しました。勿論DMATが活動するような事例が発生しないことが何よりですが、有事円滑な医療活動を提供できるよう当院DMATもスキルアップに努めております。7月からは当科に赴任された矢口医師もDMAT隊員に帶同頂けることになり益々充実した当院DMATになるものと思われます。今後も機会があれば訓練に参加し、有事に備えたいと考えております。最後に2日間の移動走行距離は1,000km以上にもなり、達成感とともに日焼けと疲労も得た訓練であったことも追記します。DMAT隊員はタフさが必要なことを実感しました。

研修医頑張ります！



**臨床研修医プログラム責任者
循環器内科主任部長 藤繩 学**

なるようなことが無いよう、常に教育・指導を徹底して目を光らせておりますのでご安心ください。

医師国家試験に合格して医師になつてからの1～2年目を初期臨床研修医（以下、研修医）と言い、日本では厚生労働省指導のもと、研修医は志望する病院で2年間新米医師として医学の臨床を学んでいます。当院は、お陰様で全国の大学から「是非、牛久市で地域医療に貢献したい」と多くの医学生が希望して集まつております、毎年5人の研修医が就職して2年間一意専心の気持ちで医療に取り組んでいます。

遅ればせながら、私は臨床研修医のプログラム責任者と言い、わかりやすくいえば研修医の世話係の様なことを行なつている循環器内科主任部長の藤繩と申します。研修医が沢山いるということは病院の活気に繋がり、病院の魅力の目安にもなるのですが、逆に患者さんには不安を持たれる方もおられるかもしれません。しかし、当院には多数の指導医が在籍しており、患者さんのデメリットのみ、精一杯頑張っていこうと思います。

研修医 宮越 俊宏

2年間の初期研修期間のうち、早いことに働き始め1年半が経ちました。医師としてはまだまだ未熟者でわからないことも多い毎日ですが、最近は少しづつ自分でできることも増えてきました。共に切磋琢磨できる研修医の仲間たちや教育熱心な指導医の先生方のもと、充実した研修生活を送ることができます。これからもより一層、患者様の信頼を得られる医者になれるよう研鑽を積み、精一杯頑張っていこうと思います。

なつてからの1～2年目を初期臨床

研修医（以下、研修医）と言い、日本では厚生労働省指導のもと、研修医は志望する病院で2年間新米医師として医学の臨床を学んでいます。当院は、お陰様で全国の大学から「是非、牛久市で地域医療に貢献したい」と多くの医学生が希望して集まつております、毎年5人の研修医が就職して2年間一意専心の気持ちで医療に取り組んでいます。

遅ればせながら、私は臨床研修医のプログラム責任者と言い、わかりやすくいえば研修医の世話係の様なことを行なつている循環器内科主任部長の藤繩と申します。研修医が沢山いるということは病院の活気に繋がり、病院の魅力の目安にもなるのですが、逆に患者さんには不安を持たれる方もおられるかもしれません。しかし、当院には多数の指導医が在籍しており、患者さんのデメリットのみ、精一杯頑張っていこうと思います。

■看護部
9月1日付

看護師 遠山 恵子

専門性を生かし、患者さま個人に合わせた看護をしていきたいと思います。

9月16日付

看護部 保健師 川向 琴音

患者さんが安心できるような丁寧な対応と、安全な看護の提供ができるよう努めています。

■春秋園
■経営管理部

事務 堀 祐子

異業種からの転職の為わからない事ばかりですが、利用者様に心地良い空間をご提供できるよう努めます。

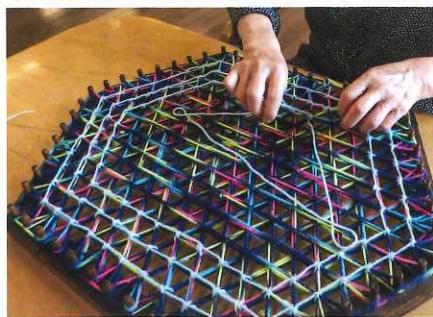


Dr趣味リレー

脳神経外科 医長 伊藤 要

80年代後半のバブル真っ只中に高校時代を送ったので、ゲレンデでは恋が芽生えていると当時は思っていた訳なのです。なので大学時代を本州最北の青森県で過ごす事になり選んだ部活がスキー部でした。でも華やかな現実は一切訪れず、夏季休暇は連日造園業でバイト、スキーシーズンに散財という学生生活で、高校時代に思い描いていたリゾートや色恋とは無縁で、思い出はお酒の絡む辛いイベントばかりでした。就職後は業務に忙殺されスキーに行く機会がありませんでしたが、少し落ち着いた時期から合間にみて再開してみました。道具への依存度が高いスキーですが、2000年初めにスキー板の劇的進化があり滑り易くなり再度雪山へ行く様になり現在に至ります。造雪機器や保存技術等の進歩で以前に比べ長い期間、地球温暖化が言われて久しい現在でも滑走可能です。加齢に伴い動体視力は低下し関節は硬くなり思う様に体が動かなくなつてきましたが、生涯スポーツとして続けられる事を夢見ています。

春秋園だより



リハビリでは、上肢・手指機能の維持・改善、認知機能の活性化等を目的として手工芸を行うことがあります。

特に冬が近づくと、毛糸を使った作品作りをされている方がちらほら見られます。ただ利用者様の中には、昔は趣味でよくやっていたけど、今はちょっと自信がないなど、(棒やかぎ針を使った)編み物は躊躇される方もいます。そんな時にご紹介するのが、毛糸を使った手工芸、リリアンや六角マットです。

リリアンや六角マットはいくつかの利点があります。まず、棒を使って作業をするので、両手が上手に使えなくても行いやすく、お試しでやってみる手工芸としては導入がしやすいという点です。また、工程がシンプルなため、難易度をその方に合わせて調整することも可能です。さらに、毛糸という材料は、失敗しても修正しや

すく、やり直したいと思った時にほどいて何度も挑戦できます。このようにリリアンや六角マットは、馴染みがあることと、昔と比べず

に新しくできること等、バランスが良い活動だと思います。



今回は外来係の紹介です。私たち中央受付、各ブロック受付、発熱外来など患者さんと病院をつなぐ窓口として活躍しています。

近年では新型コロナウイルス感染症対策の影響から、発熱患者さんの受入れ案内や対応が複雑になつてきており受付から受診するまでにお待たせすることもありますが、今は病院全体で感染対策に努めていますのでご了承ください。

治療や相談を求めて病院にいらっしゃる患者さんは、きっと不思議な気持ちでいっぱいだと思います。そんな患者さんの気持ちに寄り添い、スマーズに診療が受けられるようサポートしていく役割を担っています。私たちは医師や看護師のように直接医療行為をすることはできませんが、時には患者さんの不安な気持ちを解消する手助けすることが出来ると信じ、親切丁寧な対応、スマーズな連携を日々心がけて受付に立っています。

主な業務内容は少し細かくなってしまいますが、中央受付では新規、紹介患者さんの対応など、総合的な窓口として院内のしくみや

部署紹介

医事課外来係

医事情報部 外来係
係長 小野原 俊行

設備など説明を行っておりまます。また、外来受診された患者さんの会計、請求も行っています。

ブロック受付では各診療科への案内、採血やレントゲン検査などを受けるよう細かな案内を行っています。





お月見集会

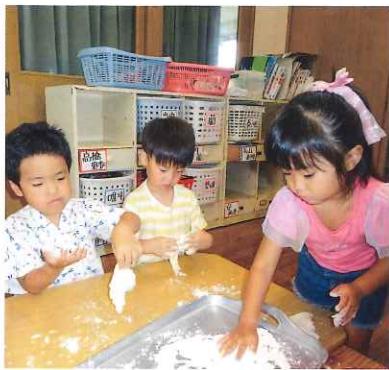
%

9月9日(金) お月見集会

を行いました。♪とんぼ とんほ この指とまれ♪わらべうたで始まりました。そして、お月見の由来や、お供え物の紹介の後、保育士による人形劇を見ました。タヌキが出てくると、指をさしたりして、子ども達全員、お月見の劇を楽しみました。

延ばしたり、再び大きな固まりにしたりして、楽しく遊びました。
おやつでは、保育士が作った団子と、お供えした果物を感謝しながら頂きました。夜、とてもきれいなお月様が出ていましたね。皆、お月様に会えたかな?

(保育課係長 榊原)



編集だより

はやいもので今年も10月がやってきました。朝晩は涼しい日も増え、いよいよ秋本番ですね。

体調管理に気を付けつつ、秋もめいっぱい楽しんでいきましょう。

(Y・A)

病院理念 我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床 (一般391床 医療療養型55床 地域包括ケア43床)

施設

敷地 59,449.60m² 駐車場 1151台



日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

救急 24時間

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

《関連施設》

- | | |
|--------------------|------------------|
| 総合健診センター | Tel 029-873-4334 |
| 健康増進施設 スポーツリラックス | Tel 029-874-8791 |
| 人工透析センター | |
| 地域リハ・ステーション | |
| 介護老人保健施設 春秋園 | Tel 029-870-3100 |
| ひたち野ステーションクリニック | Tel 029-896-6200 |
| 特別養護老人ホーム グランヴィラ牛久 | Tel 029-817-5111 |

診療科目

【一般外来】

内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、血液内科、腎臓内科、脳神経内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、リウマチ・膠原病内科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、整形外科、脳神経外科、形成外科、救急科、外科、乳腺外科、消化器外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、歯科口腔外科、甲状腺・内分泌外科

【専門外来】

内 科 (禁煙外来)
整形外科 (股関節、脊椎、スポーツ、肩関節、膝関節)
小 児 科 (小児循環器、小児心理、小児免疫)
皮 膚 科 (レーザー外来)
外 科 (下肢静脈瘤外来)
ストーマ外来
そけいヘルニア専門外来
透析外来
内視鏡検査
検診検査 (乳がん検診)

